

ひかりを放つ まちの原動力

確かな技術力と豊かな創造力
そして飽くなき情熱
このまちに輝く元気な企業は
このまちとともに成長を続ける

未来
宣言

現在

業界をリードする モノづくり

戦

後、豊かな市民生活を願い、工業立市を掲げた光市は、光海軍工廠の跡地に進出した武田薬品工業株式会社並びに八幡製鐵株式会社(現：新日鐵住金株式会社)を中心とする化学と鉄鋼のまちとして、周南工業地帯の二翼を担う近代都市として発展を続けてきました。

また、大正元(1912)年に島田村で創業した宮本製菓所(現：カンロ株式会社)をはじめ、光市発祥の企業が独自の製品、技術を開発し、全国から注目を集めています。

このほかにも、約2,000もの様々な分野の個性と魅力にあふれる事業所が、地域に根ざした、オンリーワンとして、着実に発展を続けています。

そのパワーの源は、まぎれもなくここで働く「人」。約2万人もの働き手が、日夜、その技と心を磨きながら、自らの「仕事」に誇りを持ち、さらなる高みに挑戦しています。

企業、そして、人の飽くなき情熱の結晶は、ひかりを放つ、まちの原動力となっています。

老若男女問わず
好まれる味を目指し、
“ひと粒の幸福”を
お届けしたいですね。

カンロ株式会社ひかり工場
工場長

山本 寿男さん

子どもの頃からカンロ飴の香りを感じながら育ちました。現在、市と協働で観光にも力を入れています。もっと盛り上げていけるよう、楽しいイベントや企画にチャレンジしていきたいです。

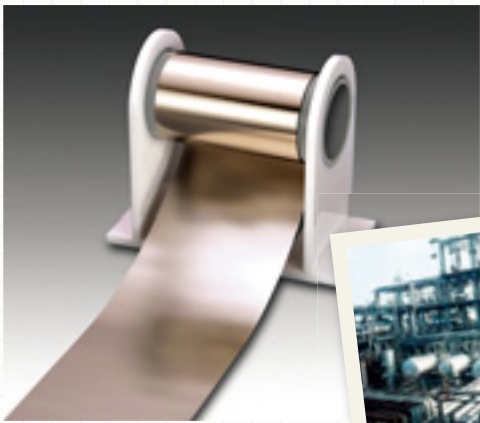


ひと粒の幸福を届けたい

ひと粒食べれば、甘しょっぱくどこか懐かしい味がする「カンロ飴」をはじめとし、「果実のど飴」や「ピュレグミ」などでおなじみのカンロ(株)は、大正元(1912)年、「宮本製菓所」として創業しました。大正11(1922)年に新工場を建設、昭和35(1960)年に社名をカンロ(株)に変更します。カンロ(甘露)とは、天から降る甘い露であり、この世に存在する美味の代名詞を語源としている同社では、創業80周年以降、毎年創業年数と同じ箱数の飴を市に寄贈し、市内各所に甘い贈り物を届けています。「美味しさ・楽しさ・健康」、創業以来大切にしてきた企業使命を掲げ、また原点である“創意と工夫”により、今後も消費者に愛される、一段と輝く「ひと粒のメッセージ」を作り続けています。



カンロ株式会社



社会を支える
緑の下の力持ち

新日鐵住金グループは、新日鐵住金ステンレス(株)、新日鐵住金(株)、新日鐵住金マテリアルズ(株)の3社が光市で協同して事業を推進しています。各社の商品は、自動車のバネ部品や構造部品、排気ガス部品などや、住宅の建材・厨房、パソコンの部品、といった身近な商品に加工される高付加価値の鉄鋼材料や、エネルギー関係に使用される高品質のパイプ製品です。

これらの鉄鋼製品を高度な技術力、開発力、課題解決力を発揮して世界に向けて発信しています。



目指すは世界No.1の
鉄鋼メーカー。
世界をリードする
存在を目指します。

新日鐵住金ステンレス株式会社
マネージャー
松岡 匠さん

ステンレス製造設備の保守を担当して40年になります。入社の際の動機は父が働いており、その背中を見て育ったので自然と新日鐵へ。そして、私の長男も。親子三代、皆さんの生活を影ながら支えています。

武田薬品工業株式会社



武田薬品工業株式会社
製薬本部光工場
戸本 結依さん

生まれも育ちも光市で、今年で入社3年目です。日々、新薬開発への協力とともに、高品質な製品の生産に取り組み、日本中を、世界中を笑顔にしていきたいです。

少しでも早く、少しでも多くの
人々の願いに応えていきたい。
それが私たちの変わらぬ想いです。



人々の健康と
医療の未来に貢献

武田薬品工業(株)は、「優れた医薬品の創出を通じて人々の健康と医療の未来に貢献する」という経営理念のもと、「タケダイズム(誠実：公正・正直・不屈)」に則り、研究開発から医療現場における情報活動まで一貫した体制で事業を展開しています。

光工場は、光市の一員として、地域の皆様とともに歩み、光市から全国へ、そして、世界へと高品質な医薬品を届けます。

